

[巻頭インタビュー]

ご提案する計画書は 自分の親に 提案するつもりで

山下正人 有澤建設(株) 常務取締役

[土地有効活用策]

「高齢者施設プラン」の御提案

[お家探訪記]

ミルクリークコレクト

[技術開発一問一答]

本物の輸入住宅「ミルクリーク」

◎有澤建設委員会活動
◎美しい家色

<http://www.arisawa.jp/>

arisawa



美しい家色

Vol.3

ガーデンテラス長崎 長崎の特等席として現れた、劇場型ホテル

Garden Terrace Nagasaki

長崎県長崎市の夜景の名所として有名な稲佐山の中腹に、新しく誕生したホテル、それがガーデンテラス長崎である。設計者は、近年国内外で非常に評価の高い隈研吾氏だ。隈氏曰く「施主の要望として歴史ある長崎の町に合わせるべく、考案した新しいデザインの形。箱であり、屋根でもある」と言わしめた。今までのホテルとは一風異なる意匠となっている。

ヴォイドとして、そこに垂直に下がる壁を削ぎ込んだように細い柱と、ガラスの小箱が不規則に連続し全体のデザインをまとめている。また木パネルを大小様々なサイズで組み合わせることで巨大な建築物に凄みを加えている。

隈 研吾

Kengo Kuma

初期のポストモダンの意匠から近年では自然素材を使い格子などを用いたデザインが特徴的な作品へと移行している。国内のみならず、海外からの評価も非常に高い日本を代表する建築家の一人である。

R100

WITH

有澤建設(株) 常務取締役 山下正人

お客様との縁を大事に。
アフターサービスに、
「終着点」はありません。



竣工後訪問期間が満了したお客様とも、疎遠にならないよう「つながり」を大切にしたい。そんな想いから、本紙「WITH」にも携わっています。

**自社のお客様はもちろん
多くの方々に知らせたい
有澤建設の「今」**

有澤建設にとって「お客様」とは、住宅やビル等を建築中の、『現在進行形』の施主様だけではありません。すでに建物を引き渡し、規定の竣工後訪問期間が満了した既納客の皆様も、ビルを建てるにあたり、これから建築会社を選定しようという皆様も、全て大切なお客様です。

「そうした様々な層のお客様に有澤建設の『今』をお伝えし、ファンづくりを推進することが、私たちの役目です」と、CS向上・広報委員会の今村勇太郎さん。ホームページ更新と、定期報「WITH」(本紙)の企画・制作を業務の2本柱に据え、毎月1回、多い時期には月に2〜3回の会合を実施。

工務、営業、広報など社内各部門の意見を集約し、有澤建設の魅力をいかに多くのお客様に伝えるか、委員会メンバー全員で、熱心に意見を交えています。



企画営業部
黒岩 千代

今回は
「経営改善委員会」
をご紹介します!



有澤建設委員会活動

今回ご紹介するのは
CS向上・
広報委員会



竣工後の定期訪問が終了しても「つながって」いたいから

『CS (Customer Satisfaction: 顧客満足度) の向上』は、あらゆる企業において最重要課題の1つ。有澤建設でも、お客様一人ひとりのニーズやご要望、お問い合わせ等に応えつつ、自社の取り組みを広く皆さんに知っていただくため、「CS向上・広報委員会」のメンバー10人が、様々なアイデアを出し合っています。



顧客満足度を高める…。「言うは易く行うは難し」の典型とも言える、企業にとって永遠のテーマです。そのため、CS向上・広報委員会は、委員長とは別に山下正人常務を委員会責任者に据えることで、取締役会に諮らねばならないような重要案件でも、自由に討論できる場を設けています。



半期に一度発行しております。
弊社ホームページよりPDFをダウンロードできます。

